

3年上

こまを楽しむ

新潟大学附属新潟小学校 中野 裕己

単元の特徴・付けたい力

本単元は、全体と中心の関係を捉えて読むことが大きなねらいとなる。教材文となる「言葉で遊ぼう」、「こまを楽しむ」は、「はじめ」に2つの問いが出され、「中」の段落でそれらの答えが述べられるといった構成となっている。この答えに着目させることで、段落の中心を捉えさせることができる。さらに、各段落の中心を捉えた子供に、最終段落にあるまとめとの関連に着目させることで、文章全体をより明確に捉えさせたい。

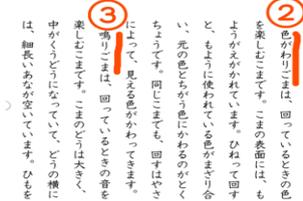
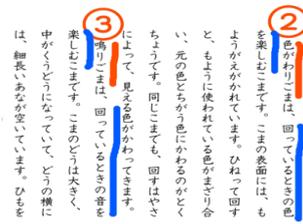
ICTの活用について

問いの文、答えの文について、デジタル教科書の本文に線を引かせる。答えを見いだすことによって、各段落の中心を捉えることができる。さらに、答えの文を「マイ黒板」に整理することで、各段落の中心を一目で確かめることができるようになる。デジタル教科書を活用することによって、叙述に基づきながら内容の中心を捉えることができるようにする。

全時学習活動（全8時間）

| 時 | 主な学習活動 | |
|----|--|---|
| 1 | 「言葉で遊ぼう」全文を読み、興味をもった言葉遊びとその理由を伝え合う。 子供が興味をもった言葉遊びとその理由を、1段落の問いと関連付けることで、問いと答えの関係を捉えさせる。 | |
| 2 | 「こまを楽しむ」全文を読み、興味をもったこまとその理由を伝え合う。 漢字や語句の確認をする。 | |
| 3 | 第1段落の問い、8段落目の「このように」に着目させて、「はじめ・中・おわり」の文章構成を確かめる。 | |
| ★4 | 第1段落目にある2つの問いに着目して、それぞれ各段落の答えを見つけ、整理する。 |  |
| 5 | 第8段落に書かれている「さまざまなしゅるいのこま」、「回る様子」、「回し方」が指しているものを見つけ、全体と中心の関係としてまとめる。 |  |
| 6 | 問いと答え、全体と中心といった、単元で学習してきたことを振り返る。 | |
| 7 | 「回る様子」と「回し方」のどちらに興味をもったか、その中で一番遊んでみたいこまはどれかをまとめる。 |  |
| 8 | 前時にまとめたことをグループで交流し、感想を伝え合う。 | |

★第4時の指導計画例

| <p>◇学習活動・指導上の留意点 ◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p> | <p>◆児童の反応 □先生の感想</p> |
|--|---|
| <p><u>導入：前時を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。</u></p> <p>◇「はじめ・中・おわり」の三段構成を確かめる。内容の中心を捉えるという本時のめあてを提示する。</p> | |
| <p><u>展開(1)：問いと答えを確かめる。</u></p> <p>①問いを確認する。</p> <p>◆1段落の2つの問いに、それぞれ赤と青で線を引く。</p>  <p>◇前時の文章構成を確認した学びを想起させて、「はじめ」に問いがあることを確認する。</p> <p>②問い「どんなこまがあるのでしょうか」について、「中」の各段落から答えの語を見つける。</p> <p>◆「中」の各段落にある答えの語に赤で線を引く。</p>  <p>③問い「どんな楽しみ方ができるのでしょうか」について、「中」の各段落から答えの文を見つける。</p> <p>◆「中」の各段落にある答えの語に青で線を引く。</p>  | <p>◆「どんなこまがあるのでしょうか」は赤、「どんな楽しみ方ができるのでしょうか」は青で線を引いている。</p> <p>□問いは前時に確認済みのため、スムーズに線を引いていた。</p> <p>◆赤の線を、各段落に1つずつ引いている。</p> <p>□迷いながら進めている子供の姿があった。</p> <p>◆青の線を、各段落に1つずつ引いている。</p> <p>□赤の後に、すぐに青の線が引かれるという気づきを口にして児童が見られた。</p> |
| <p><u>展開(2)：問いと答えの関係を整理する。</u></p> <p>④問いと答えを表に整理する。</p> <p>◆「マイ黑板」にそれぞれの問いの答えになる語や文を抜き出して、表にまとめる。</p>  <p>⑤表に整理した問いと答えを交流する。</p> <p>◆「マイ黑板」に整理した問いと答えをペアで見せ合う。</p> | <p>◆赤の線、青の線を引いた語や文を「マイ黑板」に抜き出した後、線を引いて表に整理している。</p> <p>□表の作成に時間がかかっていた。</p> <p>◆ペアを代えながら複数回交流している。交流しながら、抜き出した語や文を修正している。</p> <p>□修正が容易なため、意欲的に取り組む児童の姿が見られた。</p> |
| <p><u>まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</u></p> <p>◇問いに対する答えが、内容の中心となっていることをまとめる。</p> | <p>□「内容の中心を捉えるために、問いに対する答えを見いだす」という読み方を理解した様子だった。</p> |